

【提案】小学校部会 高学年 分科会

「主体的に学び表現する国語科授業の創造～描写に着目して登場人物の人物像を読み取ろう～」

江田島市立大古小学校

1 はじめに

主体的に学び表現する国語科授業の創造に向け、タブレット端末を使い、児童同士の関わり合いを活発にし、学習意欲を高めていく授業実践を続けてきたが、精査・解釈する力には課題が見られた。そこで本単元では、情景描写から心情を読み取る時の新たな視点として、行動や会話だけでなく色にも着目させ、人物像を想像させることをねらった。

2 研究の概要

(1) 研究仮説

単元を通して、3つの手立てを意識した授業づくりをすることで、人物像や物語の全体像を具体的に想像する力を育てることができるだろう。

(2) 研究の内容

- ① 見通しをもつことで主体的な学びを促す。
- ② 自由な表現方法を選択させ、児童に任せる。(個別最適な学び)
- ③ 誰でも取り組むことができる課題を提示する。

3 実践例

第5学年「描写に着目して登場人物の人物像を読み取ろう」

『大造じいさんとがん』東京書籍5年

- ① 単元計画の共有
- ② タブレット端末の活用
- ③ 暗示的に表現された心情に気付かせるための着眼点の提示

4 成果と課題

- 単元計画があることで、児童にとって毎時間の学習活動が分かりやすくなり、見通しをもって主体的に取り組むことができた。
- タブレット端末を活用することにより、児童の考え方や思いを表現する幅が広がり、学習意欲が向上した。
- 着眼点を提示することで、情景描写から心情を読み取る視点が増え、次単元で活用することができた。
- 中心人物の人物像を交流するだけでなく、そう思う「理由」についても展開と結び付けながら交流させることで、より具体的に人物像を捉えることができたのではないか。